■開設年度	■開講部局
2018	共通教育

■科目名

進取の精神と鹿児島大学

■英語科目名

The Spirit of Enterprise in Kagoshima University

■前後期	■開講区分	■科目形態	■単位数
後期	毎週	講義	2

■（２８年度以降入学生）中分類	■（２８年度以降入学生）小分類
教養教育科目(教養活用科目)	統合I（課題発見）
■（２５年度以降入学生）中分類	■（２５年度以降入学生）小分類
a．実践・判断・精神力	2．自己確立・他者理解を学ぶ
■（２４年度以前入学生）大区分	■（２４年度以前入学生）中区分
教養科目	人間教育科目

■受講学部学科

全学部

■担当教員	■担当教員所属
武隈晃	稲盛アカデミー長（教育学部）
■連絡先（TEL）	■連絡先（MAIL）
099-285-3751	academy@gm.kagoshima-u.ac.jp

■オフィスアワー（授業時間外の対応）

e-mailにて対応

■共同担当教員

前田 芳實、島 秀典、平井 一臣、清原 貞夫、髙松 英夫、前田 雅人、飯干 明、鈴木 廣志、近藤 英二、馬場 昌範、橋口 知、森 邦彦

■アクティブ・ラーニング

■アクティブ・ラーニング（「その他」の内容）

■アクティブ・ラーニング（授業回数）

■〈理念〉重要視する教育目標

６．〈実践〉 ２）課題の解決に向けて主体的に行動できる

■〈理念〉教育目標

１．〈自己理解〉 １）自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる

■〈理念〉教育目標

３．〈論理的思考〉 １）幅広い視野から課題の解決策を考えることができる

■〈理念〉教育目標

７．〈他者との協働〉１）自身の責任や立場を理解し、自覚的に行動できる

■授業概要（目的・内容・方法）

授業目的：
「進取の精神」の涵養を究極の目的とし、「課題の解決に向けて主体的に行動できる」ようになるための学力（とりわけ「思考力・判断力・表現力」及び「主体性・協働性」）の拡大を目指す。

授業内容：
学長はじめ鹿児島大学執行部・役員がミッション・ステートメントとして「進取の精神」とその立場から捉える鹿児島大学の個別課題について講義する。
また、講師自身の研究教育歴やキャリア形成における「進取の精神」を開示する。

授業方法：
毎回異なる講師が配布資料による講義を行うとともに，ワークシート（フィードバックシート）を介した理解の深化を図る。

■学習目標

・「進取の精神」とその涵養が鹿児島大学教育目標の達成に不可欠であることを理解する。
・「進取の精神」が大学における学修や諸活動にどのように関係しているのかについて理解する。
・自らの挑戦課題とその達成方法について自らの言葉で述べることができる。

■授業計画・試験の有無（１６回［初修語は３１回］に分け、回数、授業内容、自学自習等）

1. 「進取の精神」と鹿児島大学の企画
2. 「進取の精神」に基づいた鹿児島大学の国際化
3. 「進取の精神」に込めた私の思い
4. 日本で一番学生を大切にする大学：学長のミッションステートメント
5. 「進取の精神」と鹿児島大学の共通教育
6. 「進取の精神」とキャリア形成計画
7. 「進取の精神」と鹿児島大学の社会貢献推進
8. 鹿大卒業後のキャリアと「進取の精神」
9. 私の人生経験から得た「進取の精神」を育む教育の展開
10. 「進取の精神」と鹿児島大学の学生生活支援
11. 「進取の精神」と鹿児島大学の研究
12. 時代の変化と「進取の精神」
13. 「進取の精神」と鹿児島大学の男女共同参画
14. 「進取の精神」と鹿児島大学の情報企画
15. 「進取の精神」と鹿児島大学稲盛アカデミー
16. 期末試験は行わない（指定期日までにレポートを提出）

■授業外学習(予習・復習)

・予習：次回の授業に必要な資料を収集し、まとめておく。（学習に関わる標準時間は約30分）
・復習：授業で学んだ内容を振り返り、ワークシートにまとめる。（学習に関わる標準時間は約１時間）

■受講要件	■成績の評価基準
	ワークシート(フィードバックシート）60点、プレゼンテーション及びレポート40点
■教科書	■参考書
教科書は使用しないが、参考資料等はその都度示す	
■地域志向科目の区分（平成２７年度入学生用）	■地域志向科目の区分（平成２８年度以降入学生用）

■その他